

小平南西部地域におけるデマンド型交通の実証実験運行について

1 デマンド型交通実証実験の概要

(1) 実施期間について

令和6年6月10日から令和7年5月30日（237日間）

運行開始時は南西部地域を西武国分寺線を境に東西2つのエリア（上水本町エリア、鷹の台駅西側エリア）に分けて、曜日ごとに各エリア内で運行する方式としたが、利用が伸びなかったため、令和7年1月20日から2つのエリアを統合し、平日毎日利用できるよう運行システムを変更した。

(2) 運行日数、乗車人数について

運行システムを見直したことで利用者数が約3倍まで上がったが、目標（60人／日）には及ばず、コミュニティタクシーの実証実験と比べても少ない結果となった。

【運行実績】

実施区分と実施期間	運行日数	乗車人数	1日平均乗車人数	最多乗車人数	最少乗車人数
エリア統合前*	148日	507人	3.4人	13人	0人
エリア統合後*	89日	878人	9.9人	19人	1人
全 期 間	237日	1,385人	5.8人	19人	0人

※エリア統合前:令和6年6月10日～令和7年1月17日 エリア統合後:令和7年1月20日～5月30日

(3) 運行経費について

デマンド型交通の運行経費は、実証実験のための初期費用に加えて、電話予約に対応するためのオペレータの人件費が必要となったことから、事業経費はコミュニティタクシーの1.5倍程度となった。

また、運賃収入に関しては、デマンド型交通は利便性の高さなど考慮して、コミュニティタクシーの運賃の2倍となる300円としたが、乗車人数が目標を大きく下回ったことから、収入もコミュニティタクシーと比べて少ない結果となった。

【運行方式・運行ルート別にみた収支比較】

区 分	乗車人数	経費（千円）	収入（千円）	差引（千円）	乗車一人当たり
デマンド型交通	1,385人	15,144	361	14,784	10,674円
デマンド型交通2	1,385人	12,453	361	12,093	8,731円
大 沼 ル ー ト	20,401人	10,463	2,605	7,858	385円
栄 町 ル ー ト	23,574人	9,352	3,003	6,350	269円
鈴 木 町 ル ー ト	18,489人	10,200	2,213	7,987	432円

※デマンド型交通2は初期費用を除いた経費で計算した数値。コミュニティタクシー3ルートはいずれも平成6年度の決算数値。

2 評価指標の現状と評価

(1) 利用登録者数 831人

※住民基本台帳における南西部地域の人口は約48,000人（登録率1.7%）

【評価】

登録者831人のうち、実際に利用した人は199人（23.9%）にとどまっており、利用者が限定的であったことが伺える。

実証実験中に実施したアンケート（令和6年10月実施）結果では、「実証実験運行をしていることを知らない」と回答した人は28.2%で、広報活動に工夫が必要であった。

(2) 乗合率（「乗合件数÷予約件数」） 14.0%

※「乗合」は、同じ時間帯に同じ方面へ向かう複数の予約をひとつの運行にまとめ効率的に運行するもので、今回の実証実験では「乗合件数÷予約件数」を「乗合率」とし、運行の効率性を示す指標とした。

【予約件数に対する運行本数の状況】

期 間 区 分	運行日数	予約件数(一日平均)	乗合件数	運行本数	乗合率
エリア統合前	148日	450件(3.0件)	33件	417本	7.3%
エリア統合後	89日	796件(8.9件)	141件	655本	17.7%
全 期 間	237日	1,246件(5.3件)	174件	1,072本	14.0%

【評価】

エリア統合後は一日当たりの利用予約件数が3倍ほどに増えており、乗合により運行本数を抑えながら多くの予約に対応できたことになる。

一日当たりの運行本数が限られる中で乗車人数を増やすためには、乗合による乗車をさらに増やすことが求められる。

(3) 満足度 ①利用満足度 94.3%（「やや満足」を含む）

②再開時の利用意向度 79.3%

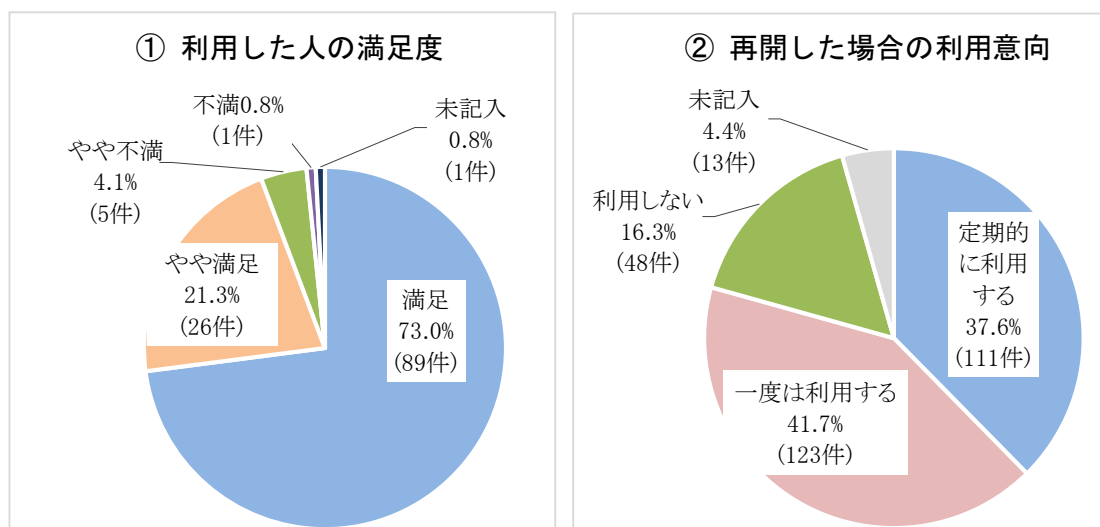
※利用登録者を対象に実施したアンケート調査（令和7年8月実施）の結果から。

【評価】

「利用した」と回答した122人のうち「満足」、「やや満足」と回答した人は9割以上で、満足度は高かった。

また、事業が再開した場合の意向についても、回答者295人のうち、「定期的に利用する」と「一度は利用する」を合わせると79.3%となり、一定の期待と需要があることが伺える。

なお、「利用しない」と回答した人も16.3%おり、また同アンケート調査で今回利用しなかったと回答した人の理由として、「他の手段で足りている」と回答した人は29.5%、「希望先はエリア外」と回答した人も30.6%で、南西部地域内では利用を必要としない人の割合が一定数いるものと思われることから、再開する場合は運行システムの改善や運行経費などをについて検討を重ね、慎重な判断が必要である。



※利用登録者を対象に実施したアンケート調査（令和7年8月実施）